

GANGJIN 

Web Contents



목차

목차	2
釉役かけ	3
試遊	3

試遊

素 焼後器物の表面に釉 を塗って二度 焼きをするようになる器物に釉 を塗ることを試遊という。素 焼は施釉をするための作業といっても間違った言葉ではない。

試遊をする方法は、つけ方、筆で塗り方、噴霧器で吹き方などいろいろありますが、つけ方が最も普遍的でありながらも器物の表面 処理が一律で最も多く使われる。ただ、大規模の作品の場合に試遊に困難があるが、この時は器物に釉 を浴び塗る

試遊する直前に水で 良く浸した後、試遊をする水に浸す理由は器物に水分を 吸えて釉 があまりにも厚く施釉されることを防止して、あまりにも急いで吸いかけて 泡が生じたり、釉 が 剥がれることを防ぐためだ。



釉 というのは陶器の表面に薄く被せ、光 と色彩や模 様を出してくれるガラス質の粉末をいう。釉 は、 実用的な目的、美的な目的、そして断熱/丹田の目的を持って使用されるが主目的は、 実用容器に装着してボウルの 強度を高め、衛生的であり、使用に便利にするものである。また、釉 の使用は、 実用的な目的と美しさを 求める美的目的も兼ね、特に陶芸家には釉 の選 択と使用法に 関して作品の蓋然性が 異なる。したがって普通に生じた陶器も釉 の 理次第で素晴らしい作品になることがあるのだ

康津 磁事業所で使用されるガラスは、 自然に開 いた自然釉だが、タヨウから着色 とし、て添加している酸化 やクロムなどは全く使わずに製造する。 磁事業所の釉 の製造は、 成分が含まれた長石や陶石を基準材料として、ここで溶 剤を配合して粉末にして使っている。溶 剤は比較的カルシウム分が多く草木灰、石灰石などを基材に合わせて選 択する。しかし、この方法は、基準に過ぎない

釉 は良い作品を作るための重要な要素が良い釉 を使用しても良い作品を作り出すことができるわけではない

GANGJIN

Web Contents

